

# 第一新聞

発行所  
第一未来館  
Tel:088-655-5001

第154号



## 人生は一生勉強

暦の上では大寒とはいえ、冬晴れの穏やかな日々が続いており、県内の中学受験が落ち着き、小6生のみなさんはホッと一安心していることでしょう。けれども、ここで気を完全に抜いてはいけません。せっかく身に付けた、毎日勉強する習慣を中学生になっても持ち続けて欲しいのです。もちろん今ままで勉強してきた内容も重要ですが、中学校での学習内容はより高度になり、さらに将来の大学受験の内容とも関連性があります。だからこそ、今まで以上に頑張らなければいけません。こんなことを聞くと、「いつになったら勉強から解放されるのか」とうんざりしている人もいるかもしれません。結論から言えば「人生は一生勉強です」が、この「勉強」はいわゆる学業のことだけではありません。

「勉強」とは「知りたい」という欲求を満たし、思考を柔軟にしてくれる生きていくために必要不可欠なことです。人間には満たしたいと思う5つの本能的な欲求があります。それは「生存の欲求」「愛・所属の欲求」「力の欲求」「自由の欲求」「楽しみみの欲求」です。この欲求を満たすために必要なものに、知的好奇心があります。「知りたい」という欲求こそが、「生存の欲求」「健康でありたい」「楽しみみの欲求」「サッカー観戦のためにルールを覚えたい」などの5つの欲求の根源にあるのです。だから「勉強」を人生を豊かにするための教養や知識を得るためのものと考えましょう。

小6生のみなさんは現在、人生における「中学受験」という一つのハードルを越えたわけですが、今後「高校受験」「大学受験」「就職」など越えなければならぬ八

ードルは無数にあります。そうした目標に向けて常に努力し続けることに価値があるのです。本気で「勉強」を頑張り続けることで、是非自分自身の人生を豊かなものにしていくことができます。

(宇都宮先生)



## ゼミ/中学部だより

2月に入り、中3生の皆さんはいよいよ高校入試本番に向けて、最後の追い上げが始まりました。基礎学力テストや冬休み明けの三者面談もありましたが、自分の可能性を信じて、仕上げ勉強をすすめていきましょうね。

自分の苦手な部分の弱点補強、本番に向けて高校入試過去問演習やポイント整理等、私たちの伝えたことも含めてきちんと進めてくれていますか？自分の点数を少しでも底上げするために、可能な限り問題に触れておきましょうね。ただし、得意な分野ではなく不得意な分野こそ、5教科のバランスを考えておさらいしておきましょう。そこで、以下に今後取り組むべき勉強のテーマを5教科でまとめておきますので、工藤先生からのアドバイスとして参考にしてください。

まず国語ですが、現代文(文学的文章・説明的文章)・古典(古文・漢文)を毎日一題ずつ解く(ある程度進められたら反復してもよい)こと、新聞、ニュースや雑誌などのコラムから作文を書くことにチャレンジし

てみて下さい。次に数学ですが、図形の証明分野に積極的にチャレンジしたり、関数分野(比例・反比例・一次関数・二次関数)は絶対に毎日解くことを徹底したり、方程式の分野にも触れたいとおきましょう。社会については、地理・歴史・公民の基礎知識の確認を徹底することはもちろんなのですが、地理・歴史・公民の複合問題にも対応できるように、高校入試の過去問を通して慣れておきましょう。また、歴史上の出来事やキーワードを年表に沿って説明できるように教科書チェックをしておくことが大切です。

理科では、生物・化学・物理・地学ともに、実験や観察問題をよくチェックしておいて下さい。そして作図や記述問題にも対応できるように、光・力や地層の分野の作図、色々な現象の説明ができるように準備しておきましょう。

最後に英語ですが、条件英作文、空欄補充や並び替え問題を繰り返し解くこと、長文問題は「速く、ポイントを押さえて」をイメージしてスラッシュリーディングを心掛けてみましょう。

どの教科でも共通して言えるのが、「時間配分を意識する」ということです。「なかなか解けそうにない問題をどうするか?」「先にどのような問題から解くか?」など、あらかじめ考えて挑むことが肝心です。中3生の皆さん、これからの時期は計画性を持って丁寧に勉強を進めていくことが最も重要です。一日一日を大切に、受験勉強生活を送っていきましょう。(工藤先生)



寒さが本当に厳しい日々が続いています。体調には細心の注意をはらってください。中学3年生にとって最も重要な第3回基礎学力テストも終わり、いよいよ出願の「2月」を迎えます。自身の持っている点数で出願高校を決めるのも一つの手段ですが、今一度いろいろなることをじっくり考えてほしいです。将来の夢や就きたい職種から考えてここにしたい、打ち込みたい部活動の有り無で、各高校が掲げる教育方針に自身が合っているかどうかで、通学に対する利便性から考えて：などなど。これから3年間通う高校です。じっくり考えてから、保護者の方や先生、私たち塾の講師のアドバイスにも耳を傾けてベストの選択を絶対しましょう。考え抜いて決めたものは、皆さんの未来に必ずプラスにはたらくと思えます。

## 出願

大きな希望と夢が詰まった高校生活まであと少し、共に頑張ってください。くれぐれも心身の健康にも気を付けながら。(竹田先生)

徳島県内の中学入試が終わり、まだ入試の結果は出ておらず、この文章が世に出るころには小6生の皆さんの進路も一通り確定していると思います。徳島県内の受験も、県外受験に挑む人たちも、全員が良い結果になれることを祈ります。さて中学入試が終われば、次は中学内容の学習が始まります。英語や数学が新しく本格的にスタートし、先取り授業がどんどん動いてきます。小学生のうちに、英語や数学はある程度先に進んでいる人もいます。全員が同じ位置から「よいドン!」というわけではなく、スタート位置が実は既に異なっています。中学入試が終わってホッと一息つきたい気

## 中学入試が終わったら

(竹田先生)

早いもので2月になりました。高校3年生は共通テストを終え、今は2次試験まっしぐらの時期だと思えます。中学3年生は高校入試に向けて追い込み中、小学6年生は試験結果も届き、今は憧れの中学生生活に向けて制服を買っている頃でしょうか。

## 日々の積み重ね



持ちは分かりますが、休むのはほどほどに。もう既に、次のステップの競争は始まっていますよ。(小倉先生)

受験から解放されたら遊びたいと思う気持ちは重々理解できますが、新中1生、新高1生になる皆さんは、そうも言っていられないのが現実です。本格的に部活が始まるとタイトな時間制限の中、効率良く勉強しないといけません。学校の授業さえしっかり聞いていれば大丈夫と思っている人は、それは授業の質によって大きく左右される上に、大抵の場合はそれでは足りないと考えを改めておくべきでしょう。

中1の学習内容自体は易しいものですが、これにあぐらをかいてしまつと基礎が定着しないまま進級することになり、結果高校での勉強に支障が出かねません。より難しくなる高校の勉強についていけるかどうかは、中学までの積み重ねにかかっているのです。そういうわけで東の間の休息を楽しむのはいいにしても、長くだらだらと過ごすことはできません。むしろ先を見据えれば、時間が足りなすぎるくらいなので、新年度も引き続き頑張っていってほしいと思います。(今岡先生)

## 公立高校入試まであとわずか

立春を迎え、新たな季節の始まりとともに、高校入試までのカウントダウンも残り1ヶ月ほどとなりました。この重要な時期に入り、皆さんの努力が最終段階に達しています。ここからの1ヶ月、どのように過ごすかが、結果を大きく左右します。入試前のこの貴重な時期には、新しい問題集に手を出すのではなく、これまで学校や塾で繰り返し使ってきた教材を中心に復習することが肝心です。なぜなら、すでに学んだ内容を深く理解し、自分のものにするのが、実力を発揮する上で最も効果的だからです。過去に解いた問題を再び解き、間違えた問題はその解法をしっかりと身につけましょう。また、この1ヶ月間の集中力は、ただ高校入試に向けてのみならず、将来的に大学入試に臨む際にも大いに役立ちます。一度身につけた集中力を養う習慣は、学問を進める上で大切な基盤となります。毎日の勉強時間を決め、計画的に勉強を進めることで、効率よく知識を定着させることができるでしょう。

最後に、皆さんがこれまで積み重ねてきた努力を信じて、自信を持って試験に臨んでください。不安や緊張は自然なことですが、その感情をバネにして、これまでの勉強を最大限に発揮するチャンスととらえてください。皆さんの健闘を心から願っています。最後の1ヶ月、共に頑張りましょう!(日下先生)

